

編集委員会から

新編集委員会から

第22巻第4号から日本食品工学会誌編集委員長として編集業務を担当させていただくことになりました田中孝明です。よろしくお願いいたします。

前任の山本修一編集委員長の時代には、古田武先生と一緒に副編集委員長を務めさせていただきました。山本先生には引き続き、副編集委員長にご就任いただき、編集業務に関するアドバイスをいただいております。新編集委員会には新人の方にも加わっていただきました。新しい視点を持って、食品工学分野の人工知能の応用研究や調理過程に関連した食品工学の投稿論文なども編集担当していただく予定です。

会員の皆様からの研究論文・技術論文のご投稿をお待ちしております。

日本食品工学会誌は、「日本学術会議協力学術研究団体の学会誌」です。いわゆるSCIジャーナルではございませんが、J-STAGEを利用したオープンアクセスジャーナルです。Scopus（エルゼビア社の引用文献データベース、CiteScoreというジャーナル評価指標が付きまます）にも登録されています。オープンアクセスジャーナルですので、本誌の掲載論文は出版されると全世界からオンラインで読んでいただけます。読者は会員・非会員を問いません。年4回の発行ですが、冊子版の発行月（3・6・9・12月）の前月までに出版用PDF（校正完了済）の準備できた場合はJ-STAGEで早期公開するように努めています（Digital Object Identifier, DOIが付きまますので早期公開論文も引用していただけます）。

アクセプトされた論文には掲載料をいただいておりますが、多くのオープンアクセスジャーナルの掲載料（Article Processing Charge, APC）が1000ドル（約10万円）以上のものが多い中で本誌は非会員の方でも半額以下となっています（ページ数によります）。さらに、日本食品工学会会員の方には非会員の方の3分の2の掲載料と格安にさせていただいております。

編集委員会では前年に掲載された投稿論文（著者に会員の方を含む論文に限ります。また、各賞受賞解説論文を除きます）の中から2報の論文を論文賞候補として授賞委員会へ推薦しています。論文賞を受賞された著者の方は日本食品工学会年次大会で表彰されておられます。

投稿論文のカテゴリーには、原著論文・技術論文・総説および解説・ノート・レターがございますが、詳しくは「日本食品工学会誌投稿規定」をご覧ください（日本食品工学会ホームページからご覧いただけます）。

日本食品工学会の学会活動の特色としてインダストリー委員会との連携がございます。会誌にはインダストリー委員会から「注目しています。その技術！」などの記事をご寄稿いただいております。企業の技術者・研究者の方に注目技術を分かりやすく解説していただいております。感謝しています。

22年の歴史を有する日本食品工学会誌を食品工学の研究・技術の交流のメディアとして、継続・発展させていきたいと考えております。

皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

（新潟大学 田中孝明）